西日本フィナンシャルホールディングス

News Release

西日本シティ銀行

2018 年 9 月 10 日

～鑑賞者 400 名を無料ご招待～

「日本の神様と舞い踊ろう～地域に根付く神楽と神舞～」の開催について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、公益財団法人福岡文化財団（理事長 久保田 勇夫）との共催により、地域で継承されている神楽や神舞を紹介する「日本の神様と舞い踊ろう～地域に根付く神楽と神舞～」を開催しますので、お知らせします。

なお、この公演に鑑賞者 400 名を無料ご招待しますので、ご希望の方は下記要領にてお申込みください。

記

■開催概要及び鑑賞申込方法

日　　時	2018 年 11 月 3 日（土・祝）14：00～16：00（開場 13：30）
会　　場	大濠公園能楽堂（福岡市中央区大濠公園 1-5）
出演団体	・神　　楽／赤幡神楽、友枝神楽、南原神楽、宗像大社巫女舞（五十音順） ・奉納太鼓／紅太鼓
招待者数	400 名（要事前申込　全自由席　入場無料）
申込方法	**1. ハガキ、E メールの場合** ①氏名 ②フリガナ ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥参加人数(1 枚 5 名まで)を明記のうえ、お申込みください。なお、E メールの場合は件名を「日本の神様と舞い踊ろう申込」としてお送りください。 **2. FAX の場合** チラシ裏面の専用お申込み用紙に記入のうえ、お申込みください。 ※チラシは西日本シティ銀行の各店舗に設置しています。
申 込 先	〒810-0001 福岡市中央区天神 1-4-1-15F 西日本新聞メディアラボ内 「日本の神様と舞い踊ろう」事務局　宛 FAX:092-731-2232　E-mail: info@bunka-zaidan.or.jp
申込締切	**2018 年 10 月 5 日（金）必着** ※当選者には招待券を発送します。応募多数の場合は抽選とし、招待券の発送をもって発表とさせていただきます。
主　　催	株式会社西日本シティ銀行、公益財団法人福岡文化財団
後　　援	株式会社西日本フィナンシャルホールディングス 福岡県、福岡県教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団

以　上

本件に関するお問い合わせ先
公益財団法人福岡文化財団　事務局　北川・清家　TEL 092-473-6777

日本の神様と舞い踊ろう

～地域に根付く神楽と神舞～

鑑賞者無料ご招待(全席自由)〈400名様〉

- ◆ 平成30年11月3日〈土(祝)・文化の日〉
- ◆ 14時開演(開場13時半)
  16時終演予定
- ◆ 会場…大濠公園能楽堂
  (福岡市中央区大濠公園1番5号)

【参加団体】… 宗像大社 巫女舞
南原神楽
赤幡神楽
友枝神楽
紅太鼓

【司　　会】… 神田 紅(講談師)

［主催］ 公益財団法人 福岡文化財団 THE FUKUOKA CULTURAL FOUNDATION

ココロがある。コタエがある。 西日本シティ銀行

［後援］ 西日本FH 西日本フィナンシャルホールディングス、福岡県、福岡県教育委員会、公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団

QRコードを読み取ると、
昨年の映像をご覧いただけます。

◆参加団体のご紹介（順不同）◆

＜神　楽＞

悠久の舞／宗像市田島 宗像大社巫女奉奏

皇紀2600年（1940年・昭和15年）奉納のための舞楽として作られた曲で、元寇の際に元軍降伏を祈祷した宏覚禅師（こうかくぜんじ）が詠んだ「末の世の 末の末まで我が国は よろずの国にすぐれたる国」を歌詞としています。作曲は宮内省楽部長として全国の神社で舞われる多くの神楽曲の作曲・作舞を手掛けた多忠朝（おおの ただとも）で、日本人としての誇りを高らかに舞い歌っています。もともとは男性4人が舞っていましたが、昭和39年の東京オリンピック開催を祝った舞台をきっかけに、作曲者の長女多静子（おおのしずこ）が巫女舞に改作し、以来女性の舞として各地の神社で上演されています。天冠（てんかん・てんがん）・小忌衣（おみごろも 青摺の模様が入り左肩から赤紐をたらす）・単衣・濃色の差袴（さばかま）姿の4人の舞姫が、春は桜、秋には菊の花を手に舞います。

＜神　楽＞

南原神楽（みなんばるかぐら）／京都郡苅田町　【演目】「御福（みふく）」

場を浄め神様をお迎えする儀式の舞です。緑・赤・青・紫の無地の狩衣、袴を着用し、手には小幣と扇を持った舞い人が4人。座礼に続き、東西南北の神に祈願を唱え、扇と小幣を交互に、天上から地上へと案内するように振り下ろしところが特徴です。このようにして悪霊が鎮められ、神様の御降臨を迎えます。

赤幡神楽（あかはたかぐら）／築上郡築上町　【演目】綱御先（つなみさき）

神の世界とこの世を区切る綱を切って、神の領域に入り込もうとする鬼と、これを防ぐ神主の攻防を表したダイナミックな舞です。綱持ち2名、神主1名、鬼1名が、綱を巡って神主と鬼、綱持ちが戦い、鬼をしめ縄で捉えようと攻防を繰り広げます。戦いに疲れた鬼が一休みすると見せかけて、突然客席に乱入し、子供を抱きかかえて暴れたり、お客さんにいたずらしたりして、剽軽なところも見せてくれます。実はこの鬼は、天から派遣された神様（猿田彦）で「自分は確かに怪しい形相だが決して悪者ではない。自分は悪いものには罰を与え、善人には幸せを与える神である」という背景があります。

友枝神楽（ともえだかぐら）／築上郡上毛町　【演目】剣舞（けんまい）

悪魔・悪霊を払う舞です。剣舞は一人で舞う採物神楽（舞う時に榊・幣・杖・笹・弓・剣・鉾などの神聖なものを手にして舞う）です。直面（ひためん＊面など何もつけないで）毛頭を被り千早と裁付袴を着て舞う非常に激しくダイナミックな舞いです。まず、四方を祓い清めるため、リズミカルな囃子にのって幣と扇で舞い、続いて襷の舞をしたのち、襷がけをして剣を両手に持ち、東西南北の四方に切り込み悪魔（悪霊）を払います。

＜奉納太鼓＞

紅太鼓（福岡市早良区紅葉八幡宮）

【演目】「海のお囃子」

全国の八幡様に伝わっている「海のお囃子」。紅葉八幡宮にも伝来の「海のお囃子」があり、私たちの「紅太鼓」が伝統の曲を引き継いで例大祭はじめ、様々な行事で演奏しています。同じように八幡様には「山のお囃子」という太鼓の曲がありますが、古の人達が海や山の恵みに感謝する気持ちを表したものと思われます。春は、新緑の緑、あでやかな桜、そして秋には樹齢200年を超える楓をはじめ、山を覆う紅葉に包まれる紅葉八幡宮から、海の恵みに感謝を込めて演奏します。

【演目】「緋音（あかね）」

太鼓を奉納する「紅葉八幡宮」とチームの名前「紅太鼓」を違った赤色で表現しようと挑戦した曲です。「緋色」は、やや黄色みのある鮮やかな赤色のこと。平安時代から用いられている日本の伝統色のひとつで、推古天皇の時代以来、紫に次ぐ高い位の人達が身に付ける衣服の色と定められていました。そんな由緒ある「緋色」を「紅太鼓」が太鼓の響きで「緋音」として表現します。

お申込み方法　平成30年10月5日（金）必着　①お名前 ②フリガナ ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥参加人数（5名様まで／ご本人様含む）を明記の上、お申込みください。応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

● ハガキ　宛先　〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1-15F
西日本新聞メディアラボ内「日本の神様と舞い踊ろう」事務局

● メール　MAIL　info@bunka-zaidan.or.jp　※件名を「日本の神様と舞い踊ろう申込」としてお送りください。

● FAX（FAX送付先：092-731-2232）

FAX専用お申込み用紙　※このまま切らずにお送りください。

■フリガナ ■お名前	■年齢
■ご住所　〒	
■電話番号　—　—	■参加人数（ご本人様含む）　名

●ご記入いただいた個人情報は、本イベントの運営以外には使用いたしません。
●当選者には10月中旬に直接招待券を発送し、発表とかえさせていただきます。

お問合せ　西日本新聞メディアラボ内 日本の神様と舞い踊ろう事務局　TEL 092-753-6120（平日のみ 9:30～17:30）